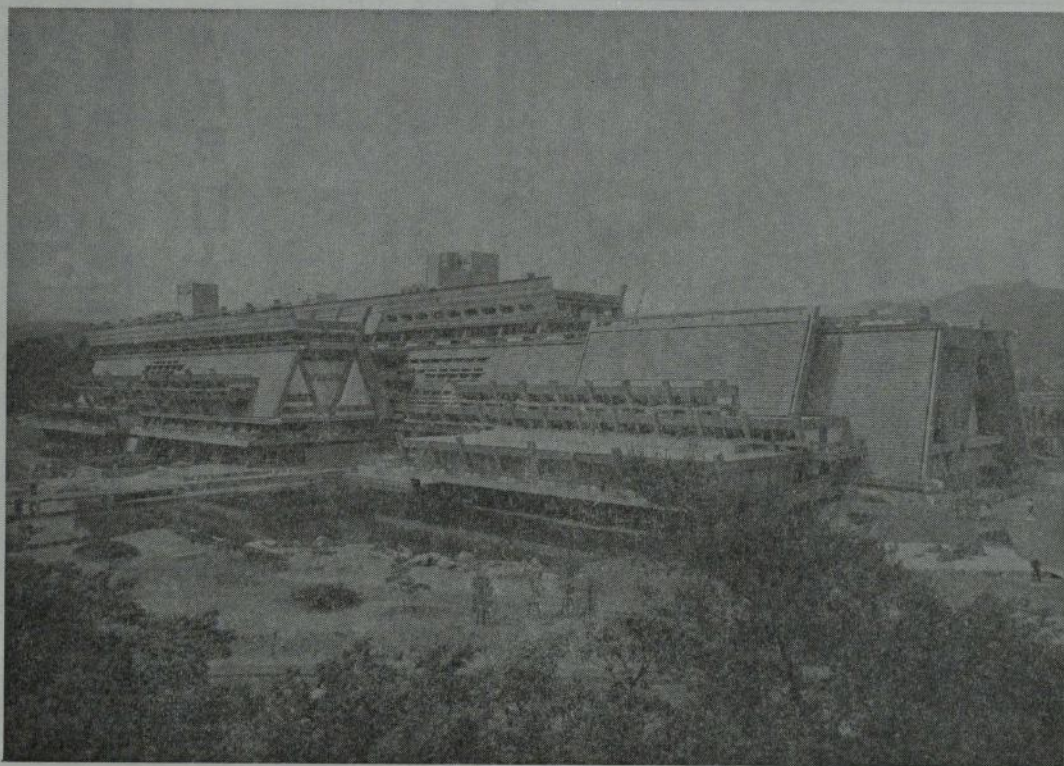


全 仏

NO. 240

7 / 53



日本大会々場

〈国立京都国際会館〉

千年の都を誇る京都、比叡山のふもとに白鳥浮ぶ宝池…その洛北の景勝地に日本の伝統建築である合掌造りの様式を現代建築に生かしたみごとな建築美。この会館は国際会議場として東洋一を誇り、国内における国際会議がほとんど行なわれている。

WFB日本大会では閉会式・サヨナラレセプションが開かれ、閉会式で大会宣言文等の報告もされる。



開かれた文化会議

今年の第十一回は、十月開催の世界仏教徒会議日本大会の事前研修ということと、日本大会の会議委員会も加った開催となり、会議メインテーマである「仏教徒の思考する未来社会像」をとりあげ

基調講演に玉城康四郎氏

全日本仏教会（全仏）と国際仏教交流センター（IBEC）共催による「第十一回日本仏教文化会議」は、六月二十日午前十時より、東京・芝の東京グランドホテル（ソートービル）を会場に、仏教学者など二十四名、全仏・IBECより二十名、オブザーバー七名、後援の読売新聞社など報道関係四名が参加して開催され、特に今秋開かれる第十二回世界仏教徒会議日本大会の事前研修として熱心に討議された。

WF B日本大会の事前研修

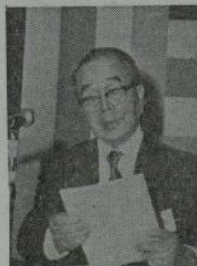
第11回 日本仏教文化会議開く

てその基調講演をもとに、あらゆる角度から建設的な意見が出され、暑さを忘れる熱心な討議がなされた。

午前十時より全仏・中村文化部長の司会で開会式が行なわれ、全仏・竜山組織局長の開会の辞につづいて、桜井大乗全仏常務理事（WF B大会実行委員長）、岡野正貫IBEC理事長、宮本正尊日本仏教文化会議々長、金岡秀友WF B会議委員長の名師がそれぞれ挨拶し、司会を運営委員・真溪義賢氏（東洋大理事長）にうつして会議に入った。

基調講演は東北大・玉城康四郎教授がメインテーマの「仏教徒が思考する未来社会像」について、過去に種々発表された経過をふまえて、①絶対無限定的世界像、②全体唯一の世界像、③流転相関的世界像、④万物共生的世界像の四次の世界像を基本に講演。

つづいて問題提起として、まず京大・井上智勇名誉教授が「近代諸思潮と仏教的思考」について、ルネサンス運動から今日に至る思潮の流れの中で、人類の現代的危機を克服する課題に、仏教徒はどう応えるのかと提言。



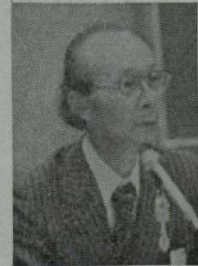
西 義雄先生



藤吉 慈海先生



井上 智勇先生



玉城康四郎先生

つぎに花園大・藤吉慈海教授が「アジアの現状と仏教徒の使命」について、この問題を考えるにあたり、仏教徒はどのような対処してゆくのかが、宗教と国家の問題、国家と仏教とのかわり合いなど反省点が多く、人類国家・地球共同体というものに仏教は努力していかなければならないと示唆された。

問題提起の三番目は、東洋大・西義雄名誉教授が「二十一世紀の僧伽形成」と題して、出家と在家と共に同心同行して和合衆たる僧伽を形成し、世界を一大僧伽たらしめることこそ、全仏教徒の即今以後の唯一の使命であると提起された。

昼食をばさんで午後一時からは、出席された諸先生方より、これら問題について、「人類危機に対する仏教的立場」「技術文明との対応」「教育の問題」などの討議が終始熱心に行なわれた。

このあと「ビルマの僧院生活」というビルマ仏教の一コマを見る珍らしい記録映画があり、閉会式に移った。

まず宮本議長より「有意義な講演であり、活発な意見交換ができた。とくに色々な共同体のすがたや、全人格的立場、深い仏教的立場、あるいは文明論、アジアの現状などたいへんよかった」と総括され、I B E C・岡野郷子理事、全仏・安藤次長の挨拶をもって終了した。

ひきつづいて懇親会にうつり、I B E C・四宮理事の乾盃で宴にはいった。

【出席者―順不同敬称略】

京大名譽教授・井上智勇、竜谷大学教授・山崎昭見、大正大学教授・竹中信常、福井県立短大教授・橋本芳契、東北大学教授・玉城康四郎、武蔵野女子大学長・雲藤義道、武蔵野女子大教授・花山勝友、高野山大学教授・松長有慶、筑波大学教授・三枝充應、愛知学院大教授・前田恵学、関東学院大教授・原覚天、朝日新聞社友・斉藤吉史、仏教伝道協会顧問・井上真六、上野学園大教授・松涛弘道、全

仏文化専門委員・若林隆光、同・中村専正、文化会議々長・宮本正尊、同副議長・西義雄、運営委員・金岡秀友、同・藤吉慈海、同・真溪義貫、同・摩尼清之、全仏常務理事・桜井大乗、I B E C理事長・岡野正貫、同理事・岡野郷子。オプザーバー・河谷エリック、村野宣忠、林水月、奈良政子、北冬賢三、望月良晃、美濃部薫一、西郊良光。



一同そろって記念写真

全仏 常務理事会、理事会報告

各議案について審議承認

全日本仏教会の常務理事会ならびに理事会は五月二十九日午前十一時より東京本願寺で開催され、次の議案について審議された。

（常務理事会）

常務理事会は御遠慮記念館で開かれ、議長に貝山宣泰師、議事録署名委員に宮部幸鷹、中山理々の両師を選出して議事に入った。

一号議案「人事について」

各宗内人事による全仏理事の移動を承認。

二号議案「加盟申請について」

かねてより加盟申請の出されていた世界平和同願会の加盟を承認。

出席者（順不同、敬称略）

別所弘因、山本杉、豊原大潤・代、芝原郷音、宮部幸鷹、貝山宣泰、野村宗春、松村寿頭・代、中山理々、町田宗夫・代

（理事會）

理事會は大谷ホールで開かれ、議長に貝山宣泰師、議事録署名委員に芝原郷音師と塩入亮達師を選出し議事に入った。

一号議案「人事異動について」

全仏関係、WFB関係の人事異動を報告承認。

二号議案「昭和五十二年度事業報告」

三号議案「歳入歳出決算」事業報告、決算を承認。

四号議案「加盟申請について」

世界平和同願会の加盟を報告承認。報告事項「WFB日本大会について」WFB日本大会事務局の経過を報告。

出席者（順不同、敬称略）

長谷川靈信、宮部幸鷹、芝原郷音、沼田恵範・代、山本杉、藤沢実成、貝山宣泰、吉田文堯、植松威、塩入亮達、町田宗夫・代、四宮正音

世界平和同願会が

全仏加盟団体に

加盟申請の出されていた世界平和同願会は、常務理事会で加盟が承認され、正式に全日本仏教会の加盟団体となった。同会の概要は左記の通り。

▲世界平和同願会▼

本部事務所 諏訪市霧ヶ峰角間沢東一三三八の二七
連絡事務所 諏訪市諏訪二の十一の三九
理事長 山崎良順

世界平和同願会は、聖徳太子をはじめ東西の諸聖賢の精神を研究し、歴史教育を通して人類の進歩と調和を図り、世界平和に貢献することを目的とし、特に平和観音像をベトナム、シンガポール、タイ、ビルマ、韓国などに奉祀安置し世界平和を祈願している。

昭和53年 7月 1日

スリランカ大統領 からメッセージ

大会の成功祈る

第十二回世界仏教徒会議日本大会の期間中に来日予定されたスリランカ国のJ・R・ジャワルデナ大統領は、このたび国内事情により正式に来日できないむね連絡があり、大統領より大会にむけてメッセージが大会事務局に寄せられてきた。

教徒会議日本大会に特別来賓としてお招き頂き感謝にたえません。スリランカと日本の間の種々の分野における協力関係は日々に増大しつつあります。私は仏教を通じて緊密なる交流が保たれていることを特にうれしく思っています。苦惱、飢え、欠乏と恐れに満ちている今日の世界にこそ、偉大なる釈迦牟尼世尊の教えを骨に心に留めて行かねばならぬ必要は、計り難いものがあります。

スリランカ大統領
J・R・ジャワルデナ
全日本仏教会より、来る十月一日より六日にかけて開催される第十二回世界仏

ここで世界情勢について一言申し述べるとすれば、それは援助を必要としている人々を犠牲に、世界平和を脅かす精巧で危険な武器の拡散についてだと思えます。

WFB日本大会へ寄金

【神奈川県仏教会抜】
五千円 磯子仏教会

大聖院 真照寺 金蔵院 金剛院 密蔵院 宝積寺 海照寺 阿弥陀寺 護念寺

願行寺 金台寺 宝勝寺 寧修寺 林香寺 東漸寺 龍珠寺 隨縁寺 妙法寺 立正長光教会

私は若いころより世尊の教えに導びかれてきました。私は武器の生産と拡散を制限し、究極的には全面的軍縮を達成し武装のために用いられる資金を人類のより貧しい地域の発展のために用いるための最高機関の国連による設立の必要を、国連軍縮特別総会に提案しました。その所以は仏陀の教説と、その有効性への深い信仰にあります。

スリランカをどうしても離れられぬ国務のため第十二回世界仏教徒会議へ出席できぬことをお許し下さい。しかしながら、私は大会の目指すものと常に一体であることを申し述べさせて頂きたく存じます。

記念事業委員会

— 記念事業全般を検討 —

記念事業委員会（花山委員長）は第五回目の委員会を六月十四日午後五時より増上寺会館小ホールで開催、花山委員長挨拶のあと、山田部長より参加者数、式典次第などを報告につづいて議事に入りました。

一、記念出版については経過報告のあと、発行部数、印刷会社などを検討
一、墨跡展については会場で難行しており検討を加える。

一、記念講演会については、読売ホールにて十月三日に開催。講師は数人に交渉中である。

一、仏教英語研究会は英語力をつける

ため日程を変更して強化する。夏期合宿は九月一日〜五日まで、小田原・大雄山にて開催し、合宿不参加のものは大会では不採用とする。

一、その他に、全日仏婦の記念行事などを検討した。

正副委員長会議

— 実行委員の役割等検討 —

毎月定例の正副委員長会議は、六月十二日午後二時より全仏会議室で開かれ、若林隆光実行副委員長を議長に選出して議事に入った。

一、経過報告として、参加代表団の数や記者会見について報告。

一、実行委員の移動として、経理委員長の大島見道師退任にともない、後任は同委員会にて選出する。

一、副実行委員長の担当について一部変更した。

一、全日仏婦大会記念行事の計画案を報告検討した。

一、実行委員の大会々期中の立場について種々協議し意見が出され、事務局にて原案をつくり、次回再度協議する。

一、各委員会の報告がされ、総務では実行委員名簿の改定、当日の役割等を検討中。会議は事前研修（文化会議）と会議内容を説明。広報はポスター配布を報告。記念事業は記念出版について説明。式典は開会式次第、勸募は勸募状況、涉外より申し込み状況、接待より記念品の件などが報告された。

暑中御見舞い申し上げます

曹洞宗宗務庁

管 長 乙川 瑾映
 宗務総長 町田 宗夫
 参 議 大島 恭龍
 参 議 梅田 信隆
 総務部長 永井 孝道
 教学部長 阿部 博邦
 財政部長 岡田 已成
 教化部長 蔵山 光堂
 布教部長 楢山 大典
 秘書室長 伊藤 襄爾
 広報室長 桑原 眉尊

東京都港区芝二の五の二
 〒105 〇三四五四(五四)一

浄土宗宗務庁

浄土門主 岸 信宏
 宗務総長 稲岡 覚順
 総務局長 水谷 激道
 教学局長 古屋 道雄
 財務局長 前田 秀導
 社会局長 飯田 信弘
 宗務支所長 野村 宗春

善導大師遠忌、法然上人降誕慶讃
 事務局長 梶原 重道
 宗務庁
 京都市東山区林下町四〇〇
 〒605 〇七五(五三)二二〇〇
 東京支所
 東京都港区芝公園四一七一四
 〒105 〇三(四三)六三三五一

真言宗豊山派宗務所

管 長 川田 聖見
 宗務総長 林 亮海
 総務部長 永見 聖宏
 教化部長 門屋 大寿
 教務部長 吉田 俊誉
 財務部長 岩脇 宏信

弘法大師一一五〇年
 御遠忌記念事業委員会
 事務局長 伊東 堅純

東京都文京区大塚五の四〇の八
 〒112 〇三(九四五)〇六三九九

孝道教団

大統領 岡野 正道
 統 理 岡野 正貫

横浜市神奈川区鳥越三八
 〒221 〇四五四三(二二)〇一

念法真教教団 総本山金剛寺

灯 主 小倉 靈現

大阪市鶴見区緑三十四一三二
 〒538 〇六(九一一)二二〇一

暑中御見舞い申し上げます

高野山 真言宗
総本山金剛峯寺

弘法大師御入定千五百年
御遠忌大法会事務局

座主・管長・総裁 高峰 秀海

宗務総長・総監 阿部野竜正

総務部長・副総監 麻生 恵光

財務部長・常務理事 稲葉 義猛

山林部長・常務理事 伊勢木俊範

教学部長・常務理事 島田 信了

法会部長・常務理事 辻 徹秀

企画室長・常務理事 北川 智城

常務理事 井上 寿戒

和歌山県伊都郡高野町高野山
〒648-02 〇七三六五(二)〇一一

真言宗智山派宗務庁
総本山智積院法務所

管長 芙蓉 良順

宗務総長 寺務長 別所 弘因

総務部長 小沢 照禎

教学部長 高野 一能

教化部長 岡本 実良

法務部長 斎 隆套

財務部長 大津 頼宥

出張所長 別院執事 渡辺 直行

京都市東山区七条東瓦町九六四
〒605 〇七五(五四一)五三六一

真言宗国分寺派
大本山国分寺

管長 西口 公教

宗務総長 足立 有教

大阪府大淀区国分寺一の六の十八
〒531 〇六(三五一)五六三七

大阪府仏教会

会長 西口 公教 (国分寺)

副会長 篤地 一隆 (本照寺)

井上文 克 (妙信寺)

事務局長 川口 良信 (全興寺)

事務局
大阪府大淀区国分寺一の六の十八
国分寺内
〒531 〇六(三五一)五六三七

浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

管長 伴 義台

宗務長 山本 勝隆

総務部長 祖父江 慶徳

教学部長 鶴 銅 慶 範

京都市中京区新京極六角下ル
楼之町四五三
〒604 〇七五(三二一)〇九五八

真言宗御室派宗務所
総本山 仁和寺

管長 立部 瑞祐

宗務総長 執行長 本山 完海

京都市右京区御室大内三十三
〒616 〇七五(四六八)一一五五

暑中御見舞い申し上げます

青森県仏教会

会 長 大山 仙遊

副会長 上田 頼石

柿崎 正元

村田 孝憲

三国 修全

大屋 瑞彦

飯田 吉盛

岩間 文雄

事務局長 石岡 智道

青森市橋本三丁目 東伝寺内
〒030 〇一七七(三四) 〇六二六

茨城県仏教会

会 長 大越 孝仁

副会長 秋本 義雄

〃 牧田 実栄

〃 小林 栄雄

〃 土肥 浩

〃 中村 純崇

事務局長 小原 泰寿

次 長 猪瀬 宝山

外顧問 理事 評議員一同

本部

茨城県多賀郡十王町友部一九九〇
〒319-13 〇一九(三四)1051
事務局

水戸市八幡町十一の六九祇園寺内
〒310 〇一九(二二)五三九

財団法人 埼玉県佛教会

会 長 岩崎 鳳栄

副会長 山本 道隆

〃 江連 俊則

専務理事 河野 亮永

浦和市高砂四一三三―一八
〒336 〇四八(六二)二二三八
埼玉会館

京都市 仏教会

会 長 伴 義台

副会長 横井 鶴洲

〃 葉上 照澄

理事長 小林 忍戒

事務局長 宮城 泰年

京都市中京区東洞院通三条下ル
住心院内
〒604 〇七五(二二)八五九八

静岡県仏教会

会 長 伊藤 禅覚

事務局長 岩田 利文

外役員一同

浜松市下池川町二七の一天林寺内
〒430 〇五三四(七二)六二二六

社団法人 全日本仏教婦人連盟

会 長 大谷 智子

副会長 一条 智光

理事長 山本 杉

事務局長 船口 暉子

事務局
東京都世田谷区桜上水四一九七
〒156 〇三三(三〇)二一五九八

暑中御見舞い申し上げます

財団法人

仏教伝道協会

会 長 沼田 恵 範
 理事長 宮本 正 尊
 理 事 中村 元
 “ 雲 藤 義 道
 “ 松 原 泰 道
 “ 芝 原 郷 音
 “ 高 辻 恵 雄
 監 事 芝 田 徹 男
 “ 坂 東 環 城
 “ 三 原 信 一
 〒103 東京都港区芝四の三の十四
 ○三(四五五)五八五一

財団法人

仏教振興財団

理事長 竹村吉右衛門
 事務局長 長瀬貫公
 主 事 本間 皓 司
 「心の糧」(月刊)
 編集担当 植 松 威
 東京都台東区浅草一丁目一
 浅草寺内
 〒111 ○三(八四二)〇一八一
 「心の糧」編集室―台東区元浅
 草四一六一六 普慶寺内
 ○三(八四一)七〇三七

財団法人

国際仏教興隆協会

名誉総裁 大谷 光 真
 理事長 巖 谷 勝 雄
 役員 一 同
 東京都目黒区中目黒五丁目一五三
 祐天寺内
 〒153 ○三(七二一)七六〇八

社団法人

日本仏教保育協会

名誉会長 大 谷 光 照
 理事長 古 屋 道 雄
 東京都港区芝園四の七の三五
 〒105 ○三(四三二)七四七五

近代仏教研究会

理事長 壬 生 照 順
 事務局長 小 室 裕 充
 東京都台東区元浅草一十七二
 華蔵院内
 〒111 ○三(八四四)三六四八

真言宗中山寺派

大本山 中山 寺

宝塚市中山寺二の十一の一
 〒665 ○七九七(八六)六五一七

財団法人

日本仏教鑽仰会

理事長 中 山 理 々
 東京都千代田区内神田二一五一六
 亀田ビル内
 〒101 ○三(二五六)四九一一

関東甲信越 越静 ブロック会議

各県仏の活動を報告

六月八日午後四時より、安房小湊「ニューナカヤホテル」において、関東甲信越静ブロック会議が千葉県仏教会担当で開催された。

会議は神奈川県仏・貝山会長の三篇依文唱和、千葉県仏・熊野理事長と全仏・安藤次長挨拶のあと、議長に東京都仏・桜井理事長を選出して議事に入った。

一、各県仏事業報告
(神奈川県仏) 寺院相互援助組合の活動状況と、県仏の社団法人化を考慮中である。

(東京都仏) 規則を改正し会長制を実施。その他WFB大会勸募に努力中で、

ほぼ目標を達成した。

(埼玉県仏) 県仏大会を毎年県内各地で順次開催し、本年は第一回大会をWFB地方大会と合せて、海外代表を迎えて川越・喜多院にて開催する。その他に仏青の育成、仏婦の結成、檀信徒の組織化などを推進している。

(茨城県仏) 第二十六回全日本仏教徒会議茨城大会の概要と準備状況の報告。
(長野県仏) 本年の県仏大会を長野市で開催する。寺院共済組合の基金が一万円達成された。

(千葉県仏) 会員中法職五十年の表彰を予定し、機関紙発行を企画中。

視聴覚時代

全仏ロビー

今日の社会は視聴覚の時代ともいわれる。子供も老人もテレビの前にかじりつき、ときにはチャンネル戦争もおこっている。

一方では、カメラ、ハミリなど見る方から自分で撮る方向にむかい、自称監督がたくさい。

んいる。

寺院住職の中にもカメラが趣味という方が多く、風景、人物と幅広く撮っているが、その中で浄土宗・勝円寺住職の青木正道師(京都)は、鎖国政策のヒルマに入学し、厳しい戒律を守り続けるヒルマ仏教の人々の暮しと、僧院生活を十六ミリ映画に記録した。

この映画は「ヒルマの仏教と信仰」と題したカラーフィルムで上映時間は三十分。特に戒律の厳しい僧院での修行の日々がとらえられており、ときに

一、WFB日本大会について
安藤WFB事務局財務局長より勸募状況の説明がおこなわれた。
△出席者▽順不敬略
(神奈川県仏) 貝山宣泰、小沢省元、志村慎吾

(東京都仏) 桜井大栗、山田一真
(埼玉県仏) 河野亮永
(茨城県仏) 猪瀬宝山、大越孝一、粕谷利通

(長野県仏) 丸山家隆、半田孝淳
(千葉県仏) 熊野尊夫、土持良栄、村松正隆、金子源司、須藤永昌、山崎照義、鈴木照彦、湯浅高現、石原慈章、堀幸男、大谷定信、正木真澄、狩野映静

組織専門委員会

六月十五日午後一時より、全仏会議室において組織専門委員会が開催され、次の事項について協議した。

托鉢して歩く僧のまわりをアヒルがユ一モラスに歩くなどの風景もおりませられている。青木師は「とにかくなまの姿をのぞいてほしい」といっておられるが、戒壇堂の得度式など貴重なフィルムである。

全日本仏教会文化部では、このフィルムのプリントをゆずりうけ、広く仏教徒の方々に見ていただきたいと願っている。希望の方は文化部へ申し込んで下さい。来年度は仏教映画のタペ等も企画しております。

一、今年十月に文化庁主催で行なわれる昭和五十三年度包括宗教法人等管理者研究協議会の、全仏の発題者、司会者、助言者などの人選について協議した。
一、宗教保育所の諸問題について話し合った。

一、第二十五回全日本仏教徒会議埼玉大会の議案処理、宗派代表者懇談会、県仏代表者会議等の問題を協議した。

掲示板

ベトナム難民救済中間報告
▼在日ベトナム難民救済運動について高等弁務官事務所より次のように中間報告がきましたので、御礼券を報告いたします。
総額 三百九万八千六百六円
十二月 五十八万二千円(12件)
一月 八十二万三千九十八円(41件)
二月 百四十四万四千六百円(69件)
三月 二十九万七千七百円(11件)

伝道協会の新刊カード

▼仏教伝道協会では、仏教興隆の一端として「伝道カード」(釈尊松絵はがき)を刊行いたしておりますが、このたび新しく「託胎」「牧女の供養」の二枚ができました。野生司香雪画伯筆、長田恒雄氏詩、一枚十五円。広くご利用下さい。

法律問題の弁護士

▼全日本仏教会の顧問弁護士の高野重秋先生は毎週土曜日にみえます。ご利用の方は全仏へ問合せ下さい。

昭和53年7月1日

事務総局録事(六月)

- 七日 局内会議
- 八日 関東申信越静ブロック会議
- 十五日 組織専門委員会
- 十六日 局内会議
- 二十日 日本仏教文化会議
- 二十七日 千葉県仏總會出席
長野県仏總會出席
- 二十八日 局内会議
- 二十九日 常務理事會

WFB事務局録事(六月)

- 一日 京都府仏へ
- 五日 関西事務局と打ち合せ會
仏教英語研究会
- 六日 救援委員会
- 十二日 委員長會議
業界三紙と會見
東仏レセプション合同委員会
- 十三日 財界勸募打ち合せ會
- 十四日 記念事業委員会
- 十五日 開會式合同委員会
仏教英語研究会
- 十六日 WFBY実行委員会
- 十七日 愛知県仏へ
- 二十一日 総務委員会
仏教英語研究会
- 二十三日 増上寺関係合同委員会
- 二十六日 仏教英語研究会
- 二十七日 閉會式合同委員会
- 二十八日 局内會議

昭和五十三年七月一日発行
六月号 第二四〇号

発行人
編集人

来躰
馬瀧
規正
雄浩

發行所 財団法人

全日本仏教会

東京都台東区西淺草一ノ五ノ五(東京本願寺内)
電話 〇三(八四三) 六三四一、三

聖觀音宗
金龍山淺草寺

管長 清水谷 恭順

宗務総長 壬生 台 舜

東京都台東区淺草二二三一
〒111 〇三(八四三)〇一八一

寺院用具

淺草通り五鳳会加盟店

株式会社 浜田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)
電話 代表 (841) 4965

テーマ
21世紀におくる仏陀のメッセージ



第12回世界仏教徒會議(WFB)
日本大会を成功させよう

昭和53年10月1日↓6日 東京・京都